

私にとってできないこと

高三

家族と出かける際に、いつも悩んでしまうことがあります。なぜならば、私にだけできないことがあるからです。今回はこのことについて考え、自分の課題を見つけていきたいと思います。

夏休みに家族と一緒にテーマパークに出かけました。目的地に着いて、妹やいとこたちといざ遊ぼうとなったときに、車いすでは参加できないアトラクションがありました。私は一人で待つことになりました。一人で待っているとき、何をしたらいいか分からず退屈で、楽しそうに遊んでいる人たちのことが、うらやましく感じられました。休日しか家族やいとこたちとの時間が取れないので、どうにかして一緒に遊びたいと思いましたが、楽しそうに遊んでいるいとこたちに声をかける勇氣が出ませんでした。

また別の日に、車で遠出してアスレチックに出かけました。目の前に広がっていたのは、水上を駆け抜けるアスレチックでした。一緒に行ったお

じさんが、いとこたちに、

「一発でゴールまでたどり着けたら、焼き肉をこちそうするよ。」

と楽しそうに言っていました。それを聞きたいとこたちも、とても嬉しそうでした。そうして盛り上がったような空気の中、一人自分だけが取り残されているような気分になりました。

「このゲームは一緒にはできないから、終わるまで待っていて。」

と言われ、仕方なく待つことにしました。他の人ができることが、なぜ私にはできないのだろうと思いつつも悔しく感じました。他の人と同じことをして、喜びや達成感を共有したいと、強く思いました。そこで、何か一緒に楽しめることはなにかと考え、撮影係を引き受けました。タブレットを使って、水上を駆け抜けていくいとこたちを、一生懸命に撮影し、一緒に盛り上がることができました。その後、同じ敷地内にある釣り堀に向かいました。今度は、皆と同じように遊ぶことができるので仲間に入れたような気持ちで、とても嬉しかったです。しかも、いとこたちよりも多くのニジマスを釣り上げ、誇らしい気持ちになりました。

た。

今度から人と出かけるときは、自分がどこに行きたいのか、何をしたいのかなど、しっかりと自分の意見を伝え、家族や友人と一緒に楽しみたいと思います。また、事前にリサーチして、段差が少なかったり、スロープがあったりする、車いすでも行ける場所かどうか、しっかりと確認した上で出かけたいと思います。

これまでの経験を踏まえて分かったことがあります。私は、周りの人とコミュニケーションを取ったり、一人で散歩をしたりすることができません。一人でコンビニエンスストアに行って、自分の好きなコーヒーを買い、楽しむこともできません。その一方で、車いすから降りて体を動かすことや、狭くて段差の多い道を通ることは苦手です。一人でできないことも諦めるのではなくて、誰かに依頼をして、体を支えてもらったり、車いすを押してもらったりすることで、できることは広がるのだということも分かりました。

今後は、自分には何ができて、何ができないのか、更に考えを深めていきたいと思えます。また、自分一人ではできないことを誰かに依頼する力を、

今よりも更に向上させていきたいです。